

俳句と和歌集 「彩色」 2017-8-7 現在、順次増補予定

野帳の片隅に、厳しい旅の合間のそよ風であった一瞬の想い、書きとめたはずのメモを順次繰って、寡作で拙い句を探し出して、録しておく。

2017-8-9

緑山 黒富士霞む 夏空に 嵐過ぎぬる 野川の小道

2017-8-7 野川公園の朝散歩

かしましや ミンミンぜみと 朝散歩

碧空の アカシア散りぬ 花小道 霞かす芝 走者の脚

2017-7-23 水鉄砲 孫と戯る 妻御やな (みずでっぽ：野川公園にて)

2017-6-28 黄鳳蝶の 山百合の花 雨宿り (きあげは：自宅庭)

2016-7-17 瓜の実のつもりが、連想からマリヤ聖母様になり、金蓮花の種子にした。

弾み軽る 心の毬や (マリヤ聖母) 瓜畑 (金蓮花ナスチウム)

2016-6-25 タチアオイ

清明に 起立するか哉 葵花

ひらひらり 飛翔すると 蒼空に

2016-6 奥多摩の道路にて

信号だ コレと叱るや ハクビシン

2015 初夏 くじら山

そよ風に 草を滑るや 孫むすめ

2014-10-31 里芋

食すなり 曾孫芋まで 愛おしく

2014-10-27

秋日に 蟻んこのごと 幼児群れ

秋桜 穏やか陽射す 蒼空に

2014-10-18 小菅村

糸瓜水 命の涙 愛おしや
野の小菊 水神様に 寄り添うの
里芋の 野良着の裾を 濡らす露

2014-4-20

初孫に 生命の重さ 春の宵
初孫の 温い重みに 思い出す 今巡りくる 生の喜び

2013-4-8

萌黄の間 茜陽射す野 妻女と

2002-12-20

誰ぞ知る 黒衣纏うや 赤心の 打ち震えたる 寒梅の晩

1999-8-8 St. Louis

冒険の トムとハックの 心あり ミシシッピーに 吾や戻れり

1998-8-18

草刈の 吾に対峙す 螻蛄斧

1997-4-7 バンガロール

千客 スコールの後 到来す

After showers, numerous guests are just coming.

土ばった バッタバッタと 跳ね上がり

初蟬に ジャケツイバラ 燃え上がる

脱穀に 恐れ戦く スコルピオン

鳴く家守 蚊取り止まず 良き友や

騙されて 巧みなテクに 悲憤す

老農夫 心通うや 言葉なく

天竺に 孤愁演ず クマリ居り

一杯の ミルクティーに 心充つ

朝夕に 香焚く暮らし 優雅やな

午睡後の 大夏圃場 のどけきや

1995-3-27

小松真木子の自死を知り、春雷に濡れ、心を癒した日に
春止まる 彩色園に また生くる 香る沈花に 真木子の姿

1994～

黒猫の 瞳澄ました 花見かな

1989 秋 アザドカシミール

清涼 林檎の郷に 蝉の声

89-10-5

残照の岩山暗きデカンの野

89-10-25

はるかなる 古里、故郷、妻娘、大和、x x を思い
菜の花に 懐かしき香り デカンの秋

89

新月に煌くプネー懐かしき

日時不明

名利に 懐せず 思想に 生くるなり

ご卒業を祝して、オオイヌノフグリの花を愛でる

陽溜りに 春一番は 花の瑠璃